

# 「今夏の電力需給対策の検討方針」における節電目標について

資料4

○:実施

△:検討

×:実施しない

	関西	九州	北海道	四国	中部	北陸	中国	東京	東北
<b>供給予備率</b>									
【需給検証委員会報告】 (カッコは予備率3%含む数値)	▲14.9% (▲17.9%)	▲2.2% (▲5.2%)	▲1.9% (▲4.9%)	0.3% (▲2.7%)	5.2% (2.2%)	3.6% (0.6%)	4.5% (1.5%)	4.5% (1.5%)	3.8% (0.8%)
【2010年実績比】 (カッコは予備率3%含む数値)	▲18.4% (▲21.4%)	▲12.1% (▲15.1%)	▲4.3% (▲7.3%)	▲1.7% (▲4.7%)					
<b>節電要請</b>									
数値目標	(注1) ▲20%	(注2) ▲12%	▲7%	▲5%					
	▲15%	▲10%	←	▲5+α%	▲5%	▲5%	▲5%	×	×
	△ (検討に着手) ※対象となり得る地域の考えをよく聴取	×	×	×	×	×	×	×	×
使用制限令	△ (準備の検討に着手)	△ (準備の検討に着手)	△ (準備の検討に着手)	△ (準備の検討に着手)	×	×	×	×	×
万が一に備えた計画停電	△ (準備の検討に着手)	△ (準備の検討に着手)	△ (準備の検討に着手)	△ (準備の検討に着手)	×	×	×	×	×
早朝・深夜の一般的節電	○								
ライフライン・弱者・被災地等への配慮	○								

(注1) ▲20%の節電が実行された場合、その需要減に伴って、揚水の供給力が增加するため、予備率は▲21.4%から▲19.5%に改善するため、目標は▲20%で設定  
 (注2) ▲12%の節電が実行された場合、その需要減に伴って、揚水の供給力が增加するため、予備率は▲15.1%から▲12.0%に改善するため、目標は▲12%で設定

→ 今後一週間程度で、対象地域の意向、対策の実効性などを考慮して、検討となっている事項を含め、節電目標及び対策を決定

# 今夏の電力需給対策

## 構造的対策

エネルギー需給安定行動計画  
(節電投資支援、  
規制・制度改革アクションプラン)

- 節電投資の支援予算の執行加速  
・ひっ迫地域への優先支援
- 規制・制度改革の着実な実施

## ピークカット対策

需要の「見える化」  
需給調整契約

- 新しい需要制御対策  
(デマンドレスポンス)  
- 新ピーク料金、ネガワット取引
- アクションプラン策定

## 節電目標

電力会社ごとの  
ピーク時節電目標の設定

- 全国レベルでの節電と融通の最大活用
- 朝方・夜間の節電による揚水活用
- 需要家の類型に応じたマニュアルの策定